

平成23年度 達成度報告書

山形県県土整備部道路課

平成24年10月10日

1 山形県道路中期計画について

2 10のみちづくり施策の達成状況

最 優 先)	1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手.....	2
最 優 先)	2. 高速道路ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進.....	3
選択と集中)	3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進.....	4
選択と集中)	4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進.....	5
選択と集中)	5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進.....	6
選択と集中)	6. 人に優しい道路空間の整備推進.....	7
最 優 先)	7. 緊急輸送道路の強化の推進.....	8
選択と集中)	8. 災害と雪に強い道路の対策推進.....	9
最 優 先)	9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化.....	10
最 優 先)	10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進.....	11

3 総括

1 山形県道路中期計画について

山形県中期計画 山形のみちしるべ 2018

平成 22 年3月策定

■「5つのみちづくり方針」とそれを具体化する「10のみちづくり施策」

5つのみちづくり方針

10のみちづくり施策

最優先の施策

選択と集中の施策

(活力・交流)

1. 活力と交流を生み出す
みちづくり

1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手

2. 高速道路ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進

(暮らし・地域)

2. 暮らしと地域を支える
みちづくり

3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進

4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進

(人・環境)

3. 人と環境を大切にする
みちづくり

5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進

6. 人に優しい道路空間の整備推進

(安全・安心)

4. 安全と安心を確保する
みちづくり

7. 緊急輸送道路の強化の推進

8. 災害と雪に強い道路の対策推進

(保全・協働)

5. 次の世代に継承できる
みちづくり

9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化

10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進

■みちづくりの考え方（施策の進め方）

厳しい財政状況の中で、効率的に「山形のみちの将来像」を実現し、かつ県民の皆様の豊かさに少しでも結び付けられるよう、以下に示す考え方で今後概ね10年のみちづくりを進めていきたいと考えております。

～選別の視点～

考え方1「最優先」・・・今後10年間で重点投資をしていく施策であり、優先的に必要額を確保するように取り組みます。

考え方2「選択・集中」・・・市町村や地域の意見を聴きながら、弾力的に、取り組みます。

～事業効果の検証～

PDCA サイクルの徹底と適確な中期計画の見直し

2 10のみちづくり施策の達成状況

最優先) 1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手

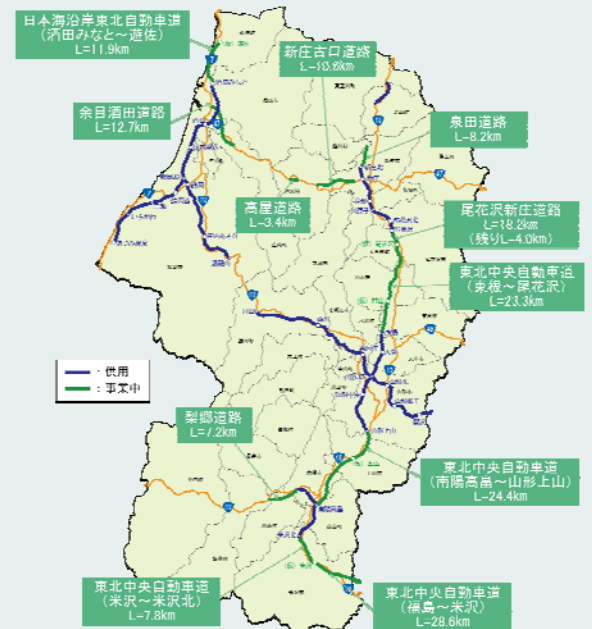
■プロジェクトの方針

高速道路 : 現在事業中区間のうち、「酒田みなとIC～(仮)遊佐IC」間(H21事業着手)を除く区間の供用(供用率80%の達成)
: 秋田・新潟県境の未着手区間の着手

地域高規格：計画路線について、事業中区間を供用（供用率45%の達成）未着手区間および石巻新庄道路についての着手追加IC：追加インターチェンジと高速道路の一体的整備

■取り組み（計画時）

	高速道路	地域高規格
供用 (整備促進) を目指す	[日治道] 酒田みなとIC～(仮)遊佐IC	
供用を 目指す	[日治道] (仮)温海IC～鶴岡JCT [東北中央道] (仮)福島JCT～(仮)米沢IC 他	[新庄酒田道路] 新庄古口道路、高屋道路、余目酒田道路 [新潟山形南部連絡道路] 梨郷道路
新規着手を 目指す	[日治道] (仮)朝日IC～(仮)温海IC、 (仮)遊佐IC～(仮)象潟IC [東北中央道] (仮)泉田道路、 (仮)泉田道路～主寝坂道路、 主寝坂道路～雄勝こまち	[新庄酒田道路] 古口～草薨 ○整備区間昇格 [新庄酒田道路] 戸沢～庄内 [新潟山形南部連絡道路] (仮)小国道路 ○調査区間昇格 [新庄酒田道路] 立川～余目 [新潟山形南部連絡道路] 小国～長井 ○計画路線昇格 [石巻新庄道路]
追加IC : 追加ICの整備を目指す [東北中央道] 米沢IC～米沢北IC、東根IC～村山IC、村山IC～尾花沢IC		



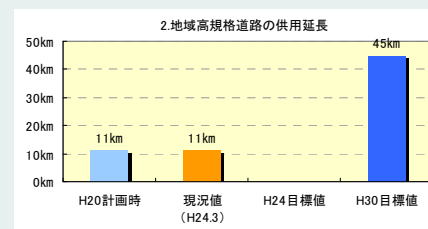
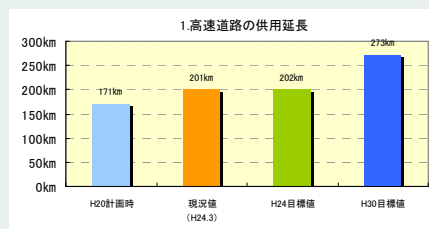
■ 実施事業例

〔日本海沿岸東北自動車道〕 あつみ温泉IC～鶴岡JCT（平成24年3月24日開通）



■ 指標

- (1) 高速道路の供用延長
(2) 地域高規格道路の供用延長



■達成事業と今後の取り組み

【平成 23 年度までの取組み】

H21.3—整備計画 梨郷道路（7.2km）
H21.5—整備計画 日本海沿岸東北自動車道（酒田みなとIC～（仮）遊佐IC）（11.9km）
H23.3—供用開始 新庄北道路（4.7km）
H24.1—計画段階評価完了 日本海沿岸東北自動車道（朝日～温海（約41km）、遊佐～象潟（約17km））
H24.3—供用開始 日本海沿岸東北自動車道（温海～鶴岡）（25.8km）

【平成24年度における取組み】

新規着手 泉田道路(8.2km)
都市計画決定が完了 日本海沿岸東北自動車道 遊佐～象潟(約17km)
都市計画決定に着手 日本海沿岸東北自動車道 朝日～温海(約41km)

【平成 24 年度目標値に対する達成見込み】

指標 1:概ね達成する見込み 指標2:目標値なし

最優先) 2. 高速道路ネットワーク形成と連携した IC アクセス道路等の整備推進

■プロジェクトの方針

高速道路・地域高規格道路の整備とともに、高速道路等の利便性向上のためのIC、追加ICへのアクセス道路の整備を促進する。
また、既存ICへのアクセス性を向上させるための道路整備も合わせて推進する。

■取り組み

- ・新設ICと市街地を連結し、高速道路の利便性を向上させるアクセス道路の整備
- ・市街地、駅、空港などと高速道路をより効率的に結び付け、観光客などの訪問者が高速道路を効果的に利用できるようにするための道路整備
- ・農・水産生鮮食料品等の輸送車両を迅速に高速交通網に乗せるための道路整備

■実施事業例

事業名：(主) 菅野代堅苔沢線 五十川工区 (平成24年3月24日開通)

○整備の経緯・目的

【背景】

本工区は日本海沿岸東北自動車道（あつみ温泉 IC～鶴岡 JCT 間）で、地域活性化 IC として設置する「いらがわ IC」の整備を実施

【整備内容】

IC 整備
延長 L=424m、幅員 W=5.5m

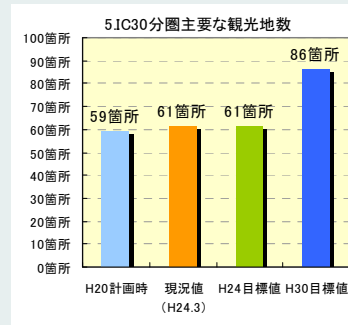
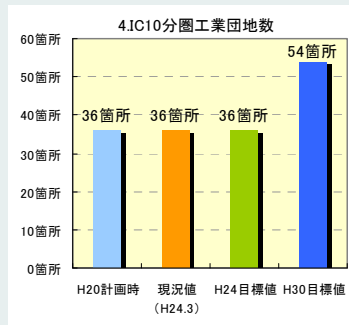
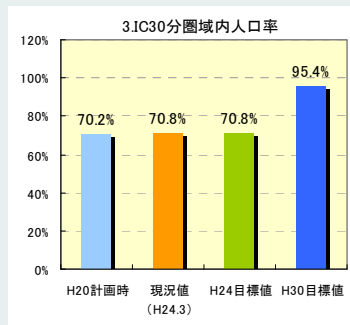


いらがわ IC



■指標

- (3) IC30分圏域県内人口率 : 県内在住者のうちICまで30分でアクセス可能な人口の割合
(4) IC10分圏工業団地数 : 工業団地のうちICまで10分以内でアクセス可能な団地数 (全81か所)
(5) IC30分圏主要な観光地数 : 主要な観光地 (10万人以上) のうち30分でアクセス可能な観光地 (全92か所)



■達成状況と今後の取組み

【平成23年度までの取組み】

H23.3 追加インター申請 4箇所
(都) 山形停車場松波線 諏訪町 (村山8)
(主) 新庄戸沢線 松本 (最上10)
(主) 余目温海線 温海 (庄内11)
(主) 酒田松山線 飛鳥 (庄内12)
(主) 菅野代堅苔沢線 五十川 (庄内14) 等が完了

【平成24年度における取組み】

H24.4 連結許可おける (H23 追加インター4箇所分)
(主) 山形山寺線 穂積 (村山10)
国道458号 本合海 BP (最上11)
国道287号 米沢北 BP (置賜10)
国道112号 酒田南拡幅 (庄内10) 等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

指標3: 達成済み

指標4: 達成済み

指標5: 達成済み

選択と集中) 3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進

■プロジェクトの方針

生活圏間の主要都市や、生活圏内の中心市街地と中小都市の交流連携を進め、生活関連サービスの確保や地域社会の維持、冬期間においても生活や福祉にできるだけ影響を与えないようにするため、一般国道や主要な県道の隘路区間やボトルネック箇所の改築・拡幅（多車線化）やバイパス整備などを、選択と重点化を図りながら計画的に推進する。

■取り組み（対象事業）

国道・県道の改築、バイパス整備、橋梁整備、渋滞対策等

- ・地域生活圏間の連結強化により、地域間の交流促進を促し活性化に資する道路の整備
- ・車両と歩行者が混在する状況により生じていた歩行者の危険性解消のための、歩道整備による歩車分離や、バイパス整備による通過交通の転換等の対策
- ・物流機能の強化等、広域的な経済活動を支援する道路の整備
- ・市街地と観光地間、観光地相互の移動を円滑・活性化する観光支援道路の整備
- ・地域生活圏の中核都市と周辺都市を結び、通勤、買い物など日常生活の利便性を向上する道路の整備
- ・冬期間における安全な交通を確保し、積雪による影響を生活や福祉に与えないための道路の整備
- ・地域の医療施設へのアクセス向上のため、隘路の解消、渋滞解消等を図る道路の整備

■実施事業例

事業名：一般国道344号 真室川町秋山（平成23年度供用）

○整備の経緯・目的

【背景】

急勾配（ $i=9.6\%$ ）及び急カーブ（ $R=20\text{m}$ ）
区間が存在しており、冬期交通の支障となっている。

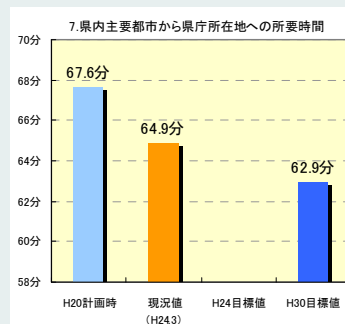
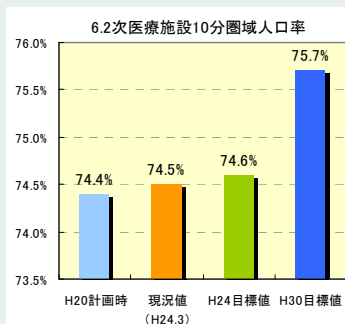
【整備内容】

バイパス整備
延長 $L=1.7\text{km}$ 、幅員 $W=13.0\text{m}$
急勾配の解消（ $i=9.6\%\rightarrow 4.5\%$ ）
線形改良（ $R=20\text{m}\rightarrow 100\text{m}$ ）



■指標

- (6) 2次医療施設10分圏域人口率
：二次救急医療施設に10分以内に搬送可能な人口率
(7) 県内主要都市から県庁所在地への所要時間



■達成状況と今後の取り組み

【平成23年度までの取り組み】

国道458号 山辺BP（村山14）
国道344号 秋山BP（最上12）
（一）五味沢小国線 船渡（置賜16）等が完了

【平成24年度における取り組み】

（主）山形山辺線 吉野宿（村山15）
（一）稲沢下野明線 下野明・安沢（最上13）
（主）米沢高畠線 長手（置賜14）
（主）鶴岡羽黒線 羽黒山（庄内15）等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

指標6：概ね達成する見込み
指標7：目標値なし

選択と集中) 4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進

■プロジェクトの方針

生活圏内における中心市街地と周辺地域や中山間地域とを結び、地域社会に欠かせない生活に密着した道路の隘路区間やボトルネック箇所を解消するための改築事業等を、選択と重点化を図りながら計画的に推進する。

整備にあたっては、1.5車線道路整備など、地域の実情に応じた弾力的な整備方法となるよう実施していく。

■取り組み(対象事業)

小規模な道路改築(現道拡幅)、バイパス整備、待避所整備、視距改良等

- ・地域の利便性や福祉環境の向上のため、地域生活圏内の中心部と周辺部の連絡を強化し、日常生活に支障となる隘路を解消するための、小規模バイパスや現道拡幅
- ・歩道整備や小規模バイパス整備による歩行者の安全対策
- ・中山間部の自動車交通量の少ない、すれ違い困難な道路においての、地域の実情を考慮した待避所整備や、1.5車線道路整備
- ・屈曲部等の対向車の確認が困難な箇所においての、視距確保のための小規模改良
- ・除雪された雪による通行への影響を、できるだけ与えないようにするための道路整備

■実施事業例

事業名：(主)新庄舟形線 本合海工区(平成23年5月13日開通)

○整備の経緯・目的

【背景】

本合海地内の現道は幅員が狭く勾配やカーブも急なため、平成6年度から現道の拡幅と一部バイパス整備を実施

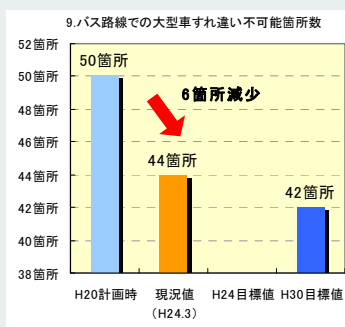
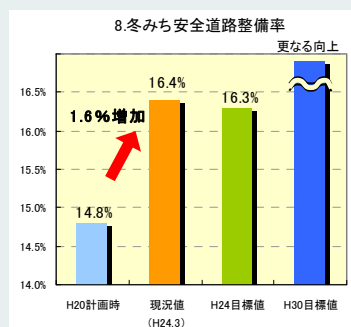
【整備内容】

バイパス・現道拡幅整備
延長L=2,240m、幅員W=13.0m



■指標

- (8) 冬みち安全道路整備率：堆雪幅が確保された道路(車道幅員8.5m)の延長割合(直轄国道+県管理道路)
- (9) バス路線での大型車すれ違い不可能箇所数：バス路線のうち未改良道路(車道幅員5.5m未満)の箇所



■達成状況と今後の取り組み

【平成23年度までの取組み】

- (一) 長瀬野田線 野田(村山19)
- (主) 新庄舟形線 本合海(最上15)
- (一) 向町最上西公園線 月盾(最上17)
- (一) 広幡窪田線 六郷(置賜18)
- (一) 円能寺砂越停車場線 中野保(庄内17)等が完了

【平成24年度における取組み】

- (主) 上山蔵王公園線 蔵王温泉(村山20)
- (一) 平岡日当線 板橋(最上16)
- (主) 長井飯豊線 手ノ子(置賜19)
- (一) 鶴岡村上線 荒沢(庄内16)等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

- 指標8: 達成済み
- 指標9: 目標値なし

選択と集中) 5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進

■プロジェクトの方針

生活圏の中心的都市内の生活関連サービスの確保や、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、都市内幹線道路の隘路区間やボトルネック箇所の改築・拡幅（多車線化）、歩車道分離など必要不可欠な事業について、選択と重点化を図り計画的に推進し、中心市街地の都市基盤の整備、良好な都市空間の整備を図る。

特に、都市部における日常生活や産業活動に多大な影響を与え、環境悪化に繋がるCO₂の増大を助長する渋滞箇所の解消を同時に図っていく。

また、都市の骨格となるような道路については、街中観光、街歩きなど地域が取り組む中心市街地活性化対策などにより、街なかが活性化するように、連携を進めていく。

■取り組み（対象事業）

- ・人口が集中する都市内における幹線的な都市計画道路や、渋滞の解消が不可欠な都市計画道路の整備
- ・新たな都市基盤整備や、土地区画整理事業などに伴う都市計画道路の整備

■実施事業例

事業名：(主) 山形天童線 落合工区（平成23年度開通）

○整備の経緯・目的

【背景】

幅員狭小かつ人家連担につき渋滞が著しい状態であったため、平成元年度からバイパス整備を進めている。
当該区間の落合交差点は、主要渋滞ポイントに指定されている。

【整備内容】 バイパスの4車線化
延長L=200m、幅員W=32.0m



【整備前】

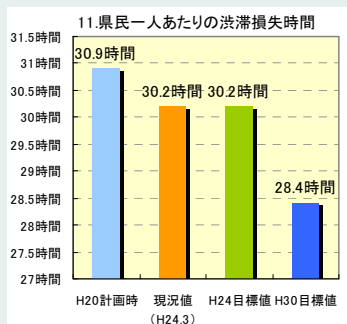
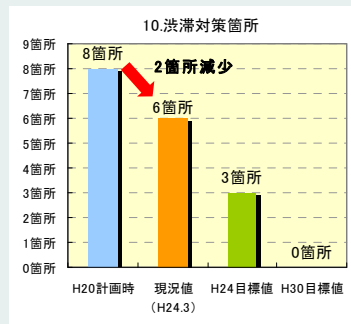


【整備後】



■指標

- (10) 渋滞対策箇所
(11) 県民一人あたりの渋滞損失時間



■達成状況と今後の取り組み

【平成23年度までの取り組み】

- (国) 287号 今泉交差点
- (主) 山形天童線 落合交差点の渋滞対策完了

【平成24年度における取り組み】

- (都) 十日町双葉町線 幸町(村山28)
- (都) 桐町成田線 本町(置賜22)
- (都) 羽黒橋加茂線 神明町(庄内22)等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

- 指標10: 達成する見込み(平成24年度に3箇所完了予定のため)
- 指標11: 達成済み

選択と集中) 6. 人に優しい道路空間の整備推進

■プロジェクトの方針

通学路への歩道設置を推進するとともに、歩行者にとって、安全で快適な歩行空間の施設整備を図るなど、県民生活に欠かさない人に優しい道路空間の整備を推進する。

特に、今後の高齢者社会を見据え、高齢者等を標準とした歩行空間のバリアフリー化とともに、死傷事故件数の軽減のための施策に取り組んでいく。

■取り組み

歩道・自歩道整備、交差点の改良、歩行空間のバリアフリー化、電線の地中化、歩道の消雪等

(1) 歩道、自転車歩行車道

- ・ 通学路指定路線 一歩道が未整備で危険な箇所への歩道の設置
- ・ 通学路に指定されていない路線 一交通が多く、歩行者が危険にさらされている箇所への歩道の設置

(2) 交差点の改良

- ・ 渋滞対策のための右左折レーンの設置や、交差角度不良等の交通の障害となる交差点での改良

(3) 歩行空間のバリアフリー化

- ・ バリアフリー化として「セミフラット形式」を基本とした歩道整備
- ・ 既設のマウントアップ形式の切り下げ部における全ての歩行者に配慮した構造を基本とする取組み
- ・ 電線の地中化により電柱を排除し良好な歩行空間を確保するとともに、震災時の電柱の倒壊被害を防止する取組み
- ・ 歩行者の多い箇所における冬期バリアフリーに対応した歩行空間確保のための無散水消雪等の取組み
- ・ 自転車専用レーン等の整備を推進し歩行者・自転車の分離を図り、歩行者等と自転車との事故を防止し安全な歩行空間確保

■実施事業例

事業名：(一) 吹浦酒田線 光ヶ丘工区 (平成23年度供用)

○整備の経緯・目的

【背景】

酒田市光ヶ丘地区に H24.4 に周辺の公立 4 校を統合した酒田光陵高校が開校した。開校後、自転車通学者が多いことが予想されるため、歩道の拡幅が望まれる。

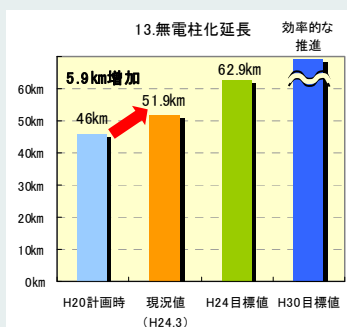
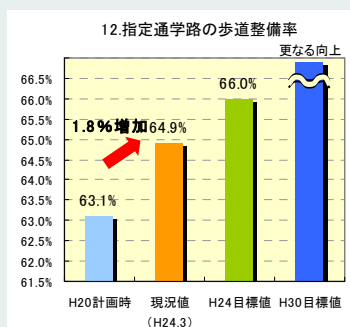
【整備内容】

歩道整備
延長 L=390m、幅員 W=12.5m



■指標

- (12) 指定通学路の歩道整備率
(13) 無電柱化延長



■達成状況と今後の取組み

【平成 23 年度までの取組み】

- (主) 山形停車場線 香澄町 (交差点改良) (村山 33)
(主) 新庄戸沢線 升形 (歩道) (最上 22)
(一) 網木小野川館山線 小野川 (歩道) (置賜 24)
(一) 吹浦酒田線 光ヶ丘 (庄内 26)
(一) 板井川下山添線 上山添 (歩道) (庄内 27) 等が完了

【平成 24 年度における取組み】

- (主) 寒河江西川線 洲崎 (歩道) (村山 34)
国道 458 号 下西山踏切 (最上 23)
(一) 五味沢小国線 増岡 (歩道) (置賜 26) 等を事業中

【平成 24 年度目標値に対する達成見込み】

指標 12: 達成しない見込み

指標 13: 達成しない見込み

最優先) 7. 緊急輸送道路の強化の推進

■プロジェクトの方針

山形県が管理する道路のうち、第1次緊急輸送道路88km、第2次緊急輸送道路934kmについて耐震性等の強化を行い、地震時の緊急輸送道路ネットワーク機能強化を推進する。

■取り組み（対象事業）

- ・道路防災総点検により危険箇所とされた箇所の内、緊急輸送道路について、防災対策工事を実施
- ・緊急輸送道路において老朽化や機能不足等が著しい12橋梁については、架替更新を実施

■実施事業例

事業名：(主) 真室川鮭川線 八敷代工区（平成23年度供用）

○整備の経緯・目的

【背景】

一般国道13号の代替路線としての役割のほか、第2次緊急輸送道路として位置付けられている重要な路線であるが、昭和28年竣工の老朽橋（W=4.5m、14tの重量制限）があり、早急な解消が望まれていた。

【整備内容】

バイパス整備・新橋架設
延長L=370m、幅員W=13.0m
（八敷代橋L=117m、W=11.0m）



【整備前】

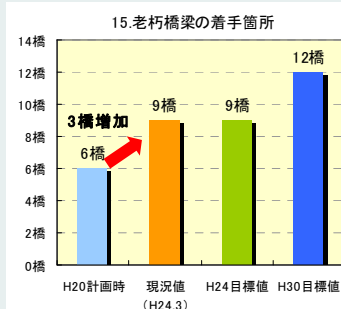
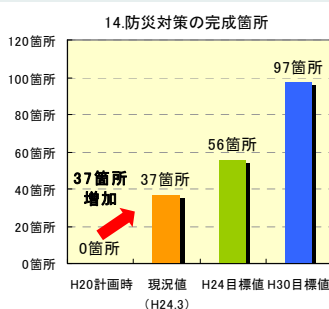


【整備後】



■指標

- (14) 防災対策完成箇所
(15) 老朽橋梁の着手箇所



■達成状況と今後の取り組み

【平成23年度までの取り組み】

- (主) 真室川鮭川線 八敷代橋（最上24）
(主) 真室川鮭川線 鏡沢橋（最上26）
国道121号 窪田防雪柵（置賜30）

【平成24年度における取り組み】

- (主) 大石田畑線 亀井田橋（村山37）
(主) 真室川鮭川線 安久土橋（最上25）
国道344号 北青沢（防災）（庄内30）等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

- 指標14: 達成しない見込み
指標15: 達成済み

選択と集中) 8. 災害と雪に強い道路の対策推進

■プロジェクトの方針

局地的な豪雨など、自然災害の多発化・凶暴化に対応するため、既存道路の斜面对策や冠水対策等を推進するとともに、雪国である山形県にとって必須である冬期の交通空間確保のための堆雪幅の拡幅、流雪溝の整備、及び防雪柵整備による地吹雪対策等を引き続き推進する。
また、身近な道路における交通事故危険箇所の安全対策等の推進を図る。

■取り組み（対象事業）

道路防災総点検により対策が必要とされる箇所（緊急輸送道路以外）

- ・落石・雪崩・地吹雪などの対策を行うことによる道路通行の安全性確保
- 冬期交通安全対策としての堆雪幅の確保など、道路の危険性排除のための事業
- ・冬期通行の安全性、利便性の向上のための堆雪幅の確保、流雪溝の整備、防雪柵の設置等
- ・豪雨による冠水の危険がある箇所に対する危険回避のための予告表示灯の設置等
- ・事故多発箇所に対する事故軽減対策等

■実施事業例

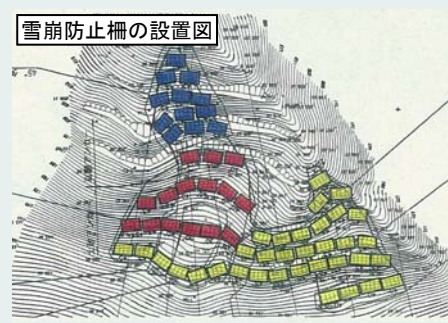
事業名：(主) 玉川沼沢線（小国町玉川）雪崩防止柵設置
(平成23年7月完了)

○整備の経緯・目的

【背景】

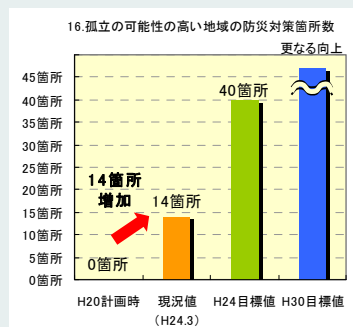
国道113号と小国町山間部を結ぶ道路で、冬期は周辺路線が閉鎖となることから、地元集落と小国町中心部を結ぶ唯一の路線となる重要な路線である。

【整備内容】 雪崩防止柵設置
全体基数 N=61 基



■指標

(16) 孤立の可能性の高い地域の防災対策箇所数



■達成状況と今後の取り組み

【平成23年度までの取り組み】

(主) 玉川沼沢線 玉川（雪崩予防策）（置賜30）
国道345号 出川原（堆雪幅）（庄内34）
(一) 菅里直世下野沢線 当山（防雪柵）（庄内35）
国道345号 宝徳（防雪柵）（庄内36）等が完了

【平成24年度における取り組み】

(一) 大石田名木沢線 岩ヶ袋流雪溝（村山41）
(一) 福寿野熊高線 長者原（防雪柵）（最上30）
(主) 米沢飯豊線 須郷（落石対策）（置賜29）等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

指標16: 達成しない見込み

最優先) 9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化

■プロジェクトの方針

山形県が管理する道路橋等の道路施設について、今後は、長期的な視点に立ち、厳しい財政状況下においても安全性を確実に確保するために、道路管理施設の長寿命化に積極的に取り組み、長期的なコストの縮減、更新を含めた管理費用の平準化を図る。

道路橋については、長寿命化修繕計画を平成23年度までに全橋について策定し、その後、「傷みが小さいうちに計画的に対策することで長寿命化を図る予防保全型の管理」に移行する。

■取り組み(対象事業)

橋梁維持管理のPDCAサイクル化

・県が管理する道路橋約2,300橋について長寿命化修繕計画を策定し、定期点検、計画の策定及び更新、対策、記録をPDCAによる5年サイクルで継続的に実施する。

また、道路パトロール等による日常的な点検と併せ、橋梁の状態を常に把握することで、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

計画的な対策の実施

・初回点検に基づき、損傷の度合いに応じた補修を実施し、以後は新たな損傷の発生や進行を把握しつつ、早期の予防的な補修による長寿命化または計画的な架け替えにより、橋梁全体の維持管理費用の最適化を図る予防保全型の管理を行なう。

■実施事業例

事業名：(一)板谷米沢停車場線 万里橋(米沢市)
橋面防水工の施工(平成23年度完了)

○整備の経緯・目的

【背景】

松川(最上川)に架かる本橋は、架設後約30年が経過し、桁の端部を中心に橋面からの漏水による経年的な劣化が進行しつつある状況だった。

【整備内容】

腐食の進行が懸念される桁に対して劣化しにくい塗料に塗り替え及び漏水防止対策の実施
→長寿命化による維持管理コストの削減



健全に見える橋でも
下を見れば傷んでいることがあります



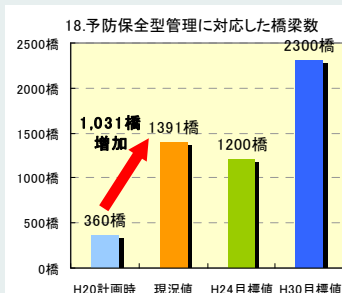
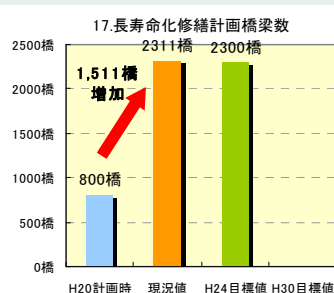
橋面防水工の施工

雨水の浸入を防止し、
橋の劣化を抑えます

■指標

(17) 長寿命化修繕計画橋梁数

(18) 予防保全型管理に対応した橋梁数



■達成状況と今後の取り組み

【平成23年度までの取り組み】

(主) 天童大江線 老野森跨線橋(長寿命化対策)(村山46)
(主) 上山七ヶ宿線 長清水跨線橋(長寿命化対策)(村山47)
(主) 戸沢大蔵線 稲村橋(長寿命化対策)(最上32)
(主) 川西小国線 這坂橋(長寿命化対策)(置賜31)
(一) 板谷米沢停車場線 万里橋(置賜32)等が完了

【平成24年度における取り組み】

(主) 川西小国線 十四郷橋(長寿命化対策)(置賜33)
(一) 砂越余目線 庄内大橋(長寿命化対策)(庄内38)等を事業中

【平成24年度目標値に対する達成見込み】

指標17:達成済み

指標18:達成済み

最優先) 10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進

■プロジェクトの方針

県民生活や経済活動等に欠くことのできない道路ネットワークを、今後も使い続けていくために、道路の維持管理費の優先的な確保を行うものとするが、厳しい財政制約の中にあっても、地域の実情やニーズを踏まえて、よりいっそうの工夫を行い、効率的な維持管理を推進していく。

特に、道路本体、道路構造物、道路付属施設などについては、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、長期的なコスト削減の視点に立った効率的な維持管理を推進する。また、マイロードサポーターによる道路の清掃・除草などの環境美化の取組みや、冬期間の歩道除雪など、県民との協働による取組みの支援を通して、住民ニーズに応じたきめ細やかな維持管理の実現と地域コミュニティづくりを支援する。

■取り組み（対象事業）

- ・道路管理の事業（道路パトロール、除草、除雪等）
- ・道路維持補修等の事業（舗装の修繕や更新、道路側溝の修繕や整備）
- ・県民協働の取組み（協働除雪、マイロードサポート、ボランティア除雪等）
- ・効率的な除雪作業（交換路線除雪、協働除排雪）

■実施事業例

路線名：(主) 天童寒河江線、(一) 中山三郷寒河江線
団体名：寒河江市衛生組合連合会柴橋支部

○整備の経緯・目的

【背景】

環境保全全般の啓発を推進し、心のモラルを向上させることを目標として活動を実施
平成 20 年度には県知事感謝状授与

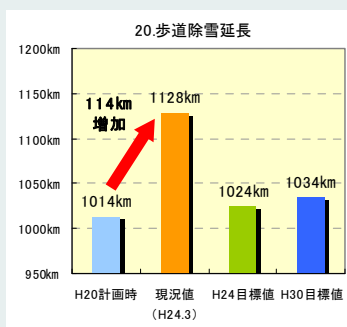
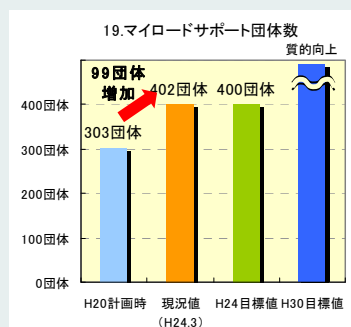
【整備内容】

- ・清掃（空き缶、空き瓶 等の清掃）
- ・草刈（機械による草刈）
- ・植栽（花壇等の植栽） など



■指標

- (19) マイロードサポート団体数
(20) 歩道除雪延長



■達成状況と今後の取組み

【平成 23 年度までの取組み】

歩道除雪延長は、既に H24 目標の 1024km 以上
マイロード団体数は 367 団体になる

【平成 24 年度における取組み】

マイロードサポート団体は新たに 35 団体が登録全体で 402 団体となる

【平成 24 年度目標値に対する達成見込み】

指標19: 達成済み
指標20: 達成済み

3 総括

■平成23年度の達成度

- ・最優先の5施策では、施策7の緊急輸送道路の防災対策事業の進捗が遅れているが、その他の指標については H24 年度に概ね達成される見込みである。
- ・選択と集中の5施策では、施策6の通学路の歩道整備事業と無電柱化事業、施策8の孤立の可能性の高い防災対策事業の進捗が遅れているが、その他の指標については H24 年度に概ね達成される見込みである。

H24. 3 時点							
10 のみちづくり 施策	指標名	H20 計画時	H23 現況値	H24 目標値	H24 目標値 達成度	H24 達成 見込み	H30 目標値
1 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の全線着手	(1)高速道路の供用延長	171km	201km	202km	96.8%	□	273km
	(2)地域高規格道路の供用延長	11km	11km	-	-	-	45km
2 高速交通ネットワーク形成と連携した IC アクセス道路等の整備推進	(3)IC30 分圏域県内人口率	70.2%	70.8%	70.8%	100.0%	◎	95.4%
	(4)IC10 分圏工業団地数	36 箇所	36 箇所	36 箇所	100.0%	◎	54 箇所
	(5)IC30 分圏主要な観光地数	59 箇所	61 箇所	61 箇所	100.0%	◎	86 箇所
3 生活圏・主要都市間ネットワークの整備促進	(6)2 次医療施設 10 分圏域人口率	74.4%	74.5%	74.6%	50.0%	□	75.7%
	(7)県内主要都市から県庁所在地への所要時間	67.6 分	64.9 分	-	-	-	62.9 分
4 生活幹線道路ネットワークの整備促進	(8)冬みち安全道路整備率	14.8%	16.4%	16.3%	106.7%	◎	更なる向上
	(9)バス路線での大型車すれ違い不可能箇所数	50 箇所	44 箇所	-	-	-	42 箇所
5 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	(10)渋滞対策箇所	8 箇所	6 箇所	3 箇所	40.0%	○	0 箇所
	(11)県民一人あたりの渋滞損失時間	30.9 時間	30.2 時間	30.2 時間	100.0%	◎	28.4 時間
6 人に優しい道路空間の整備推進	(12)指定通学路の歩道整備率	63.1%	64.9%	66.0%	62.1%	△	更なる向上
	(13)無電柱化延長	46,026m	51,860m	62,911m	34.6%	△	効率的な推進
7 緊急輸送道路の強化の推進緊急輸送道路の防災危険箇所の概成、老朽橋梁等の更新	(14)防災対策完成箇所	-	37 箇所	56 箇所	66.1%	△	97 箇所
	(15)老朽橋梁の着手箇所	6 橋	9 橋	9 橋	100.0%	◎	12 橋
8 災害に強い道路の対策推進	(16)孤立の可能性の高い地域の防災対策箇所数	-	14 箇所	40 箇所	35.0%	△	更なる向上
9 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化（山形県橋梁長寿命化計画による修繕等の推進）	(17)長寿命化修繕計画橋梁数	800 橋	2,311 橋	2,300 橋	100.7%	◎	-
	(18)予防保全型管理に対応した橋梁数	360 橋	1,391 橋	1,200 橋	122.7%	◎	2,300 橋
10 圏民協道と、効率的な道路維持管理の推進	(19)マイロードサポート団体数	303 団体	402 団体	400 団体	102.1%	◎	質的向上
	(20)歩道除雪延長	1,014km	1,128km	1,024km	1140.0%	◎	1,034km

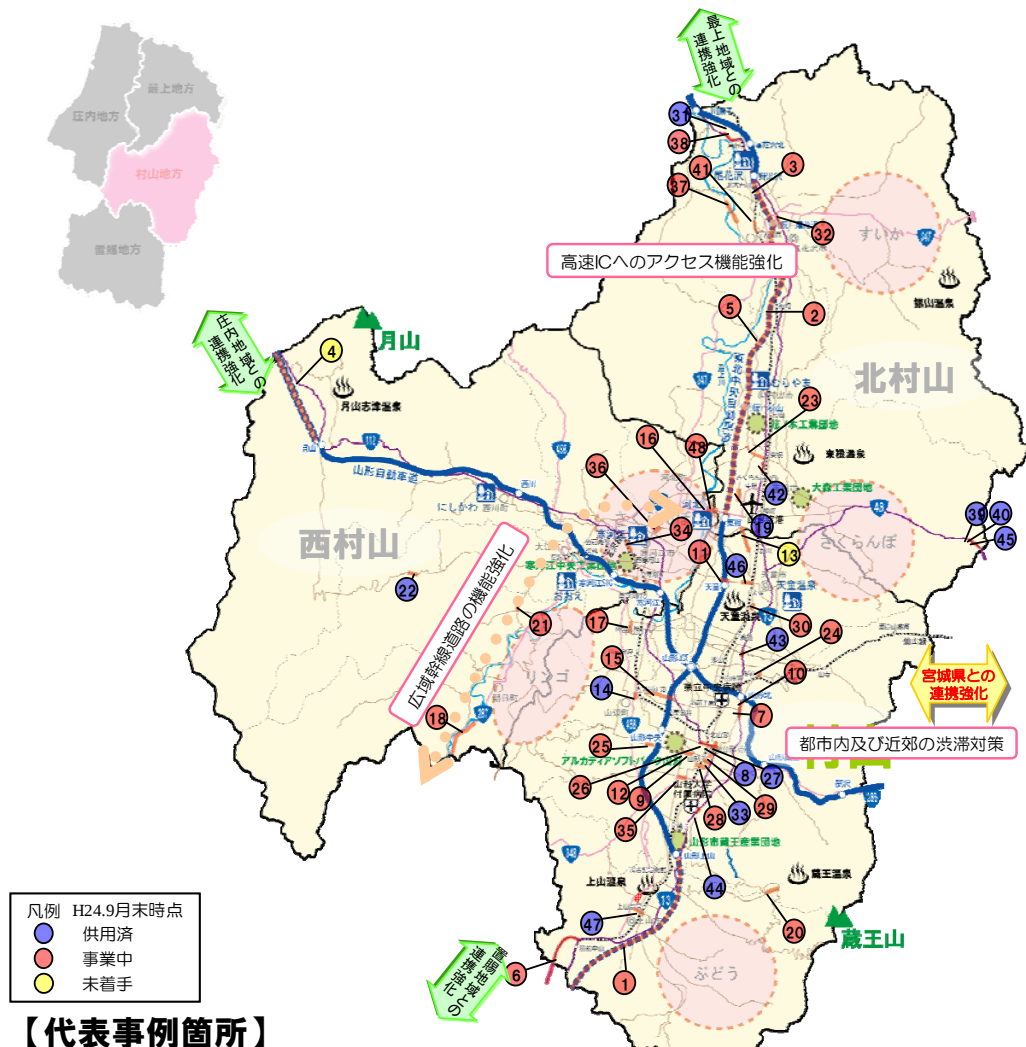
最優先の施策

※H24 目標値達成度（％）…[増加指標]（H23 現況値－H20 計画時）／（H24 目標値－H20 計画時）
[減少指標]（H20 計画時－H23 現況値）／（H20 計画時－H24 目標値）

※H24 達成見込み…◎：達成済み、○：達成する見込み、□：概ね達成する見込み、△：達成しない見込み

村山地域

【都市と農村が共鳴しあい、様々な県民活動が展開される田園都市圏「村山」の創造】



【代表事例箇所】

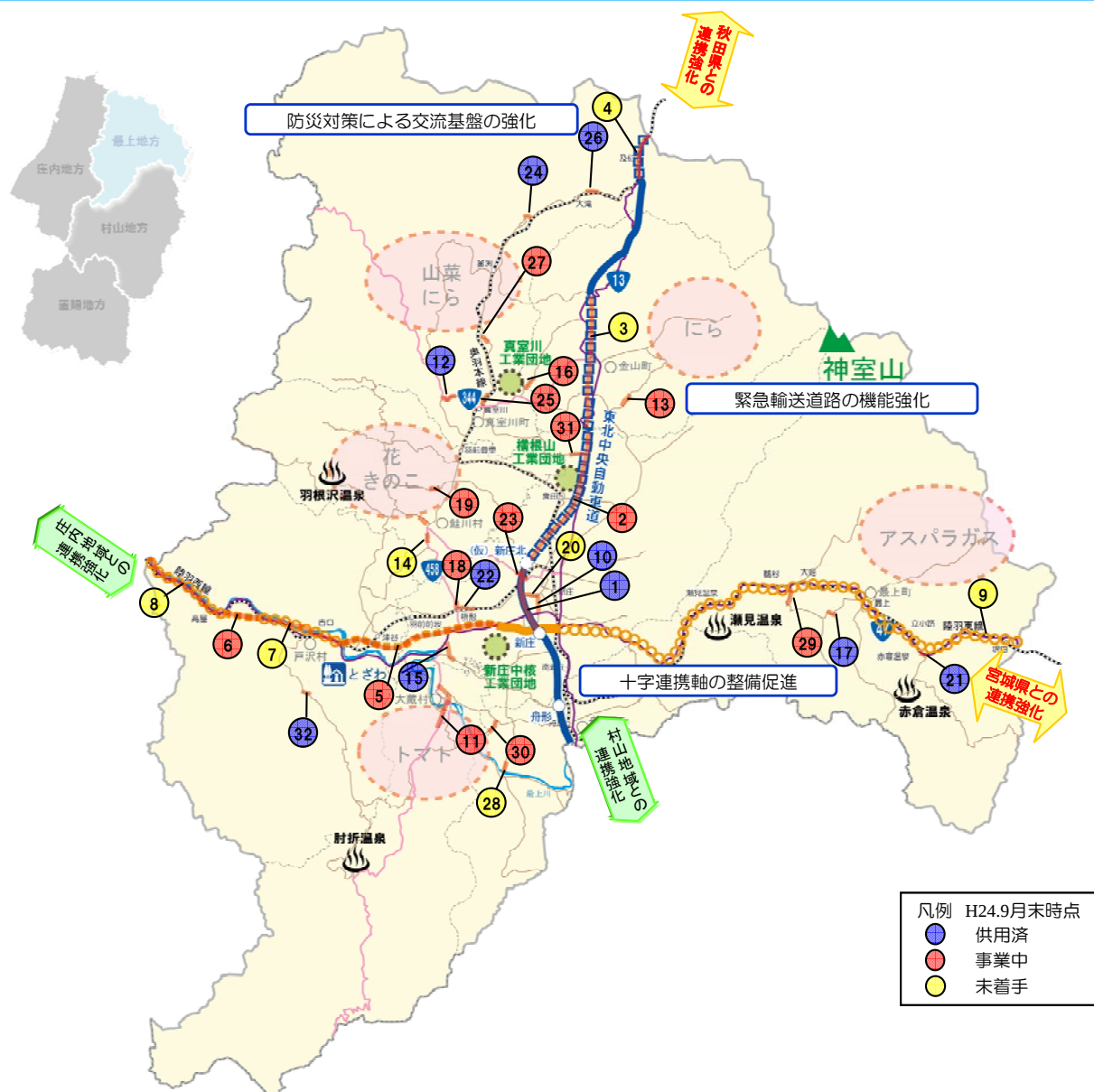
施策	事業名	No.
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中 区間の供用と未着手区間の着手	東北中央自動車道	①
	山形自動車道	②
	尾花沢新庄道路	③
	月山IC～湯殿山IC【機能強化・部分改良】	④
	追加IC	⑤
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	国道13号 上山バイパス	⑥
	国道13号 大野目交差点改良	⑦
	(都) 山形停車場松波線 諏訪町	⑧
	(都) 東原村木沢線 春日町	⑨
	(主) 山形山寺線 穂積	⑩
	(主) 天童大江線 蔵増	⑪
	(一) 下原山形停車場線 清住町	⑫
	(主) 山形天童線 羽入〔北村山-2〕	⑬
	国道458号 山辺バイパス	⑭
	(主) 山形山辺線 吉野宿	⑮
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	(主) 天童大江線 蔵増	〔再掲〕
	国道287号 谷地・東根	⑯
	(主) 天童寒河江線 岡〔村山-2〕	⑰
	国道287号 杉山〔西村山-1〕	⑱
	(一) 長瀬野田線 野田	⑲
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	(一) 上山蔵王公園線 蔵王温泉	⑳
	(主) 長井大江線 大谷	㉑
	(主) 大江西川線 萱見	㉒
	(一) 東根長島線 長瀬〔北村山-1〕	㉓
	(主) 山形山寺線 高瀬川橋	㉔
	(一) 下原山形停車場線 飯塚橋	㉕
		㉖

施策	事業名	No.
5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	国道112号 霞城改良	㉗
	国道13号 大野目交差点改良	〔再掲〕
	(一) 下原山形停車場線 清住町	〔再掲〕
	(都) 旅籠町千歳橋線 相生町	㉘
	(都) 十日町双葉町線 幸町	㉙
6. 人に優しい道路空間の整備推進	(都) 旅籠町八日町線 七日町	㉚
	(都) 山形老野森線 一日町	㉛
	国道13号 名木沢歩道	㉜
	国道13号 尾花沢歩道	㉝
	(都) 山形停車場線 香澄町〔交差点改良〕	㉞
7. 緊急輸送道路の強化の推進	(主) 寒河江西川線 州崎〔歩道〕	㉟
	国道348号 南館〔交差点改良〕〔村山-1〕	㊱
	(主) 寒河江村山線 三泉〔歩道〕	㊲
	(主) 大石田畑線 亀井田橋	㊳
		㊴
8. 災害に強い道路の対策推進	国道13号 名木沢地区流雪溝	㊵
	国道48号 柳沢地区防災対策	㊶
	国道48号 萱倉山地区防災対策	㊷
	(一) 大石田名木沢線 岩ヶ袋流雪溝	㊸
	(主) 長井大江線 大谷	〔再掲〕
9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化(山形県橋梁長寿命化計画による修繕等の推進)	国道13号 新白水仙橋	㊹
	国道13号 天童大橋	㊺
	国道13号 飯田高架橋	㊻
	国道48号 第1・第2赤滝橋	㊼
	(主) 天童大江線 老野森跨線橋	㊽
	(主) 上山七ヶ宿線 長清水跨線橋	㊾
	国道287号 谷地橋	㊿
10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進	マイロードサポート事業	—
	協働除雪作業	—

※〔 〕：別冊に掲載している「期待される整備効果事例」

最上地域

【森と里山の文化が息づく暮らしの豊かさと厚みのある産業が織り成すエコポリス「最上」の創造】



【代表事例箇所】

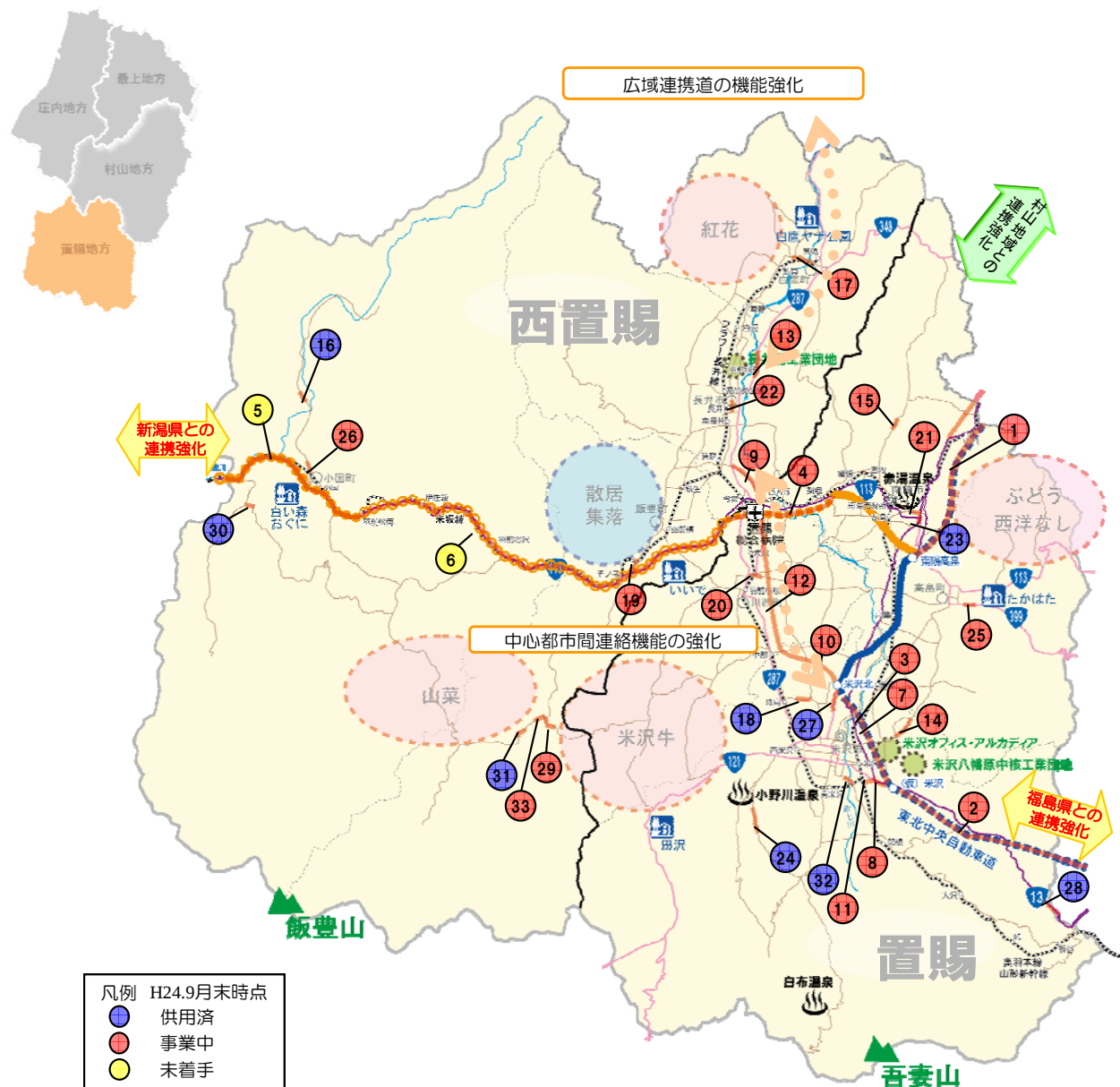
施策	事業名	No.
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	東北中央自動車道	
	新庄北道路	①
	泉田道路	②
	泉田道路～主寝坂道路【計画段階評価着手】	③
	主寝坂道路～秋田県雄勝【計画段階評価着手】	④
	新庄酒田道路	
	新庄古口道路	⑤
	高屋道路	⑥
	古口～草薙【新規着手】	⑦
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	戸沢～立川【計画段階評価着手】	⑧
	石巻～新庄【計画路線昇格】	⑨
	石巻新庄道路	
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	(主)新庄戸沢線 松本	⑩
	国道458号 本合海バイパス	⑪
	国道344号 秋山バイパス	⑫
	国道458号 本合海バイパス	〔再掲〕
	(一)稲沢下野明線 下野明・安沢	⑬
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	国道458号 日下〔最上-2〕	⑭
	(主)新庄舟形線 本合海	⑮
	(一)平岡日当線 板橋	⑯
	(一)向町最上西公園線 月橋〔最上-1〕	⑰
	国道458号 升形	⑱
	(一)曲川新庄線 居口橋	⑲

施策	事業名	No.
5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	(主)新庄戸沢線 室内	⑳
	国道47号 富沢歩道	㉑
	(主)新庄戸沢線 升形(歩道)	㉒
	国道458号 本合海踏切	〔再掲〕
6. 人に優しい道路空間の整備推進	国道458号 下西山踏切	㉓
	7. 緊急輸送道路の強化の推進	
	(主)真室川鮭川線 八敷代橋	㉔
	(主)真室川鮭川線 安久土橋	㉕
	(主)真室川鮭川線 鏡沢橋	㉖
8. 災害に強い道路の対策推進	(主)真室川鮭川線 栗谷沢橋	㉗
	(主)新庄次子村山線 堀内橋	㉘
	(一)最上西公園線 大堀流雪溝	㉙
	(一)福寿野熊高線 長者原(防雪柵)	㉚
9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	(一)赤坂真室川線 昭和(堆雪柵)	㉛
	(主)戸沢大蔵線 稲村橋(長寿命化対策)	㉜
	10. 県民協働と、効率的な道路維持管理の推進	
	マイロードサポート事業	—
	除雪交換路線	—

※〔 〕：別冊に掲載している「期待される整備効果事例」

置賜地域

【伝統・文化が実を結び、人々が支え合い輝く、力強い産業が根を張る魅力ある「置賜」の創造】



【代表事例箇所】

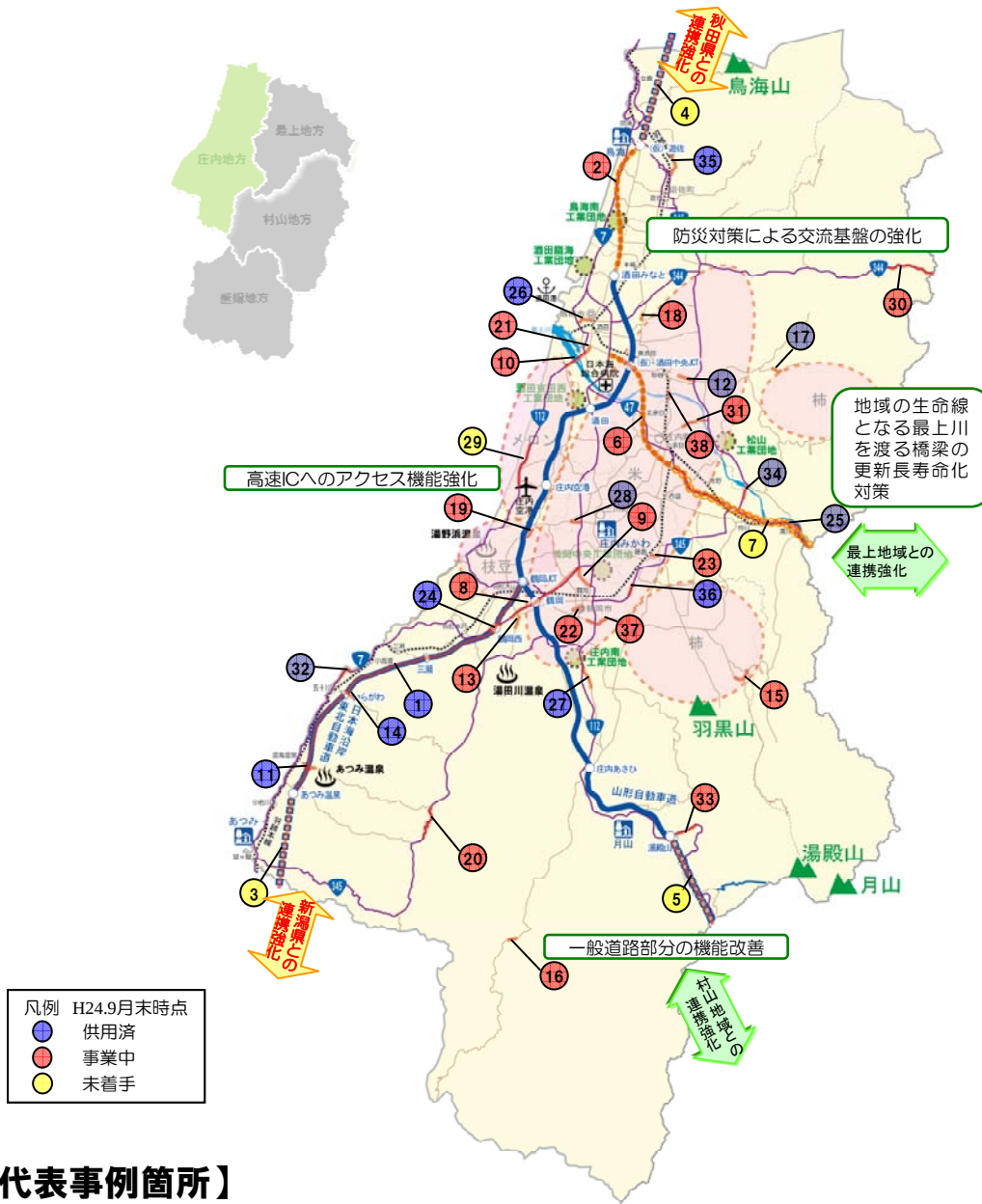
施策	事業名	No.
1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	東北中央自動車道 南陽高島IC～山形上山IC	①
	福島JCT～(仮)米沢IC	②
	(仮)米沢IC～米沢北IC	③
	新潟山形南部連絡道路 梨郷道路	④
	小国道路【計画段階評価着手】	⑤
	小国～長井【調査区間昇格】	⑥
	追加IC 追加ICの整備	⑦
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	国道13号 米沢拡幅	⑧
	国道287号 長井南BP	⑨
	国道287号 米沢北BP	⑩
	(一)米沢環状線 万世	⑪
	国道287号 川西バイパス【置賜-2】	⑫
3. 生活圏・主要市間ネットワークの整備推進	国道287号 森バイパス	⑬
	(主)米沢高島線 長手	⑭
	(主)山形南陽線 中里	⑮
	(一)五味沢小国線 舟渡	⑯
	(主)長井白旗線 荒砥橋【西置賜-2】	⑰
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	(一)広幡窪田線 六郷	⑱
	(主)長井飯豊線 手ノ子	⑲
	(主)高島川西線 中小松	⑳

施策	事業名	No.
5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	国道13号 米沢拡幅	〔再掲〕
	(一)米沢環状線 万世	〔再掲〕
	(都)赤湯停車場線 赤湯	㉑
	(都)堀町成田線 本町【西置賜-1】	㉒
6. 人に優しい道路空間の整備推進	国道13号 長岡交差点改良	㉓
	(一)綱木小野川館山線 小野川(歩道)	㉔
	国道399号 小郡山(歩道)【置賜-1】	㉕
	(一)五味沢小国線 増岡(歩道)	㉖
7. 緊急輸送道路の強化の推進	国道121号窪田防雪柵	㉗
8. 災害に強い道路の対策推進	国道13号 米沢板谷地区防災対策	㉘
	(主)米沢飯豊線 須郷(落石対策)	㉙
	(主)玉川沼沢線 玉川(雪崩予防柵)	㉚
9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	(主)川西小国線 道坂橋(長寿命化対策)	㉛
	(一)板谷米沢停車場線 万里橋(長寿命化対策)	㉜
	(主)川西小国線 十四郷橋(長寿命化対策)	㉝
10. 県民協働と、効率的な道路維持管理の推進	マイロードサポート事業	—
	置賜道路ボランティア事業	—

※〔 〕：別冊に掲載している「期待される整備効果事例」

庄内地域

【海・山・平野と歴史が育んだ文化・産業と新たな胎動が融合した新しい地域モデル「庄内」の創造】



【代表事例箇所】

施策	事業	No.	施策	事業	No.	
1. 高速道路・地域高規格道路の整備 中区間の供用と未着手区間の着手	日本海沿岸東北自動車道	あつみ温泉IC～鶴岡JCT	①	5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	(都) 豊里十里塚線 山居町	①
		酒田みなとIC～(仮) 遊佐IC	②		(都) 羽黒橋加茂線 神明町	②
		朝日まほろばIC～あつみ温泉IC【新規着手】	③		(都) 蔵島駅笹花線 新町	③
		(仮) 遊佐IC～象潟IC	④	6. 人に優しい道路空間の整備推進	国道7号 中清水歩道	④
	山形自動車道	月山IC～湯殿山IC 〔機能強化・部分改良〕	⑤		国道47号 清川駅口交差点改良	⑤
		新庄酒田道路	余目酒田道路		⑥	(一) 吹浦酒田線 光ヶ丘
			立川～余目〔調査区間昇格〕	⑦	(一) 坂井川下山添線 上山添(歩道)	⑦
				(主) 余目加茂線 東沼(歩道)	⑧	
				国道112号 浜中(歩道)	⑨	
2. 高速交通ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	国道7号 鶴岡バイパス	⑧	7. 緊急輸送道路の強化の推進	国道112号 出羽大橋	〔再掲〕	
	国道112号 鶴岡北改良	⑨		(都) 豊里十里塚線 新内橋	〔再掲〕	
	国道112号 酒田南拡幅	⑩		国道344号 北青沢(防災)	⑩	
	(主) 余目温海線 温海	⑪	(一) 余目松山線 庄内橋〔庄内-2〕	⑪		
	(主) 酒田松山線 飛鳥	⑫	8. 災害に強い道路の対策推進	国道7号 堅吾沢地区防災対策	⑫	
	(一) 湯田川大山線 白山	⑬		国道112号 田麦俣地区防雪対策	⑬	
	(主) 菅野段笠谷沢線 五十川〔庄内-1〕	⑭		国道345号 出川原(堆雪幅)	⑭	
		(一) 菅里直世下野沢線 当山(防雪幅)		⑮		
3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	国道112号 酒田南拡幅〔再掲〕	〔再掲〕		国道345号 宝徳(防雪幅)	⑯	
	(主) 酒田松山線 飛鳥〔再掲〕	〔再掲〕	9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化	(主) 鶴岡羽黒線 羽黒橋(長寿命化対策)	⑰	
	(主) 鶴岡羽黒線 羽黒山	⑮		(一) 砂越余目線 庄内大橋(長寿命化対策)	⑱	
4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	(一) 鶴岡村上線 荒沢	⑮		10. 県民協働と、効率的な道路維持管理の推進	マイロードサポート事業	—
	(一) 円能寺砂越停車場線 中野俣	⑰	除雪交換路線		—	
	(一) 安田砂越停車場線 漆曾根	⑯				
	(主) 余目加茂線 下川	⑲				
	国道345号 一本木	⑲				

※ [] : 別冊に掲載している「期待される整備効果事例」